

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	総事業費	900,000	1,500,043	1,100,248	500,000	300,000	4,300,291
		うち市町支出額	900,000	1,500,000	1,100,000			3,500,000
		うち県交付金	450,000	750,000	550,000			1,750,000
2	空家活用プロジェクト ぷらっとほうむCADO	総事業費	410,000	232,011	273,381	130,000	130,000	1,175,392
		うち市町支出額	380,000	220,000	240,000			840,000
		うち県交付金	190,000	110,000	120,000			420,000
3	アートでつながる街中活性化事業	総事業費		483,936	500,972	500,000	480,000	1,964,908
		うち市町支出額		480,000	500,000	500,000		1,480,000
		うち県交付金		240,000	250,000	250,000		740,000
4	野木町文化祭	総事業費		1,196,044	1,322,251	1,325,000	1,198,000	5,041,295
		うち市町支出額		1,196,044	1,322,051	1,325,000		2,518,095
		うち県交付金	0	598,022	661,026	662,500	0	1,921,548
5	野木町郷工館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト	総事業費			300,521	250,000	200,000	750,521
		うち市町支出額			300,000	250,000		550,000
		うち県交付金			150,000	125,000	0	275,000
6	商工会きらりフェスタ	総事業費			2,000,000	2,129,205	2,028,172	6,157,377
		うち市町支出額			1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000
		うち県交付金			750,000	750,000	750,000	2,250,000
7	地域・こども食堂	総事業費				355,535	346,387	701,922
		うち市町支出額				354,000	311,000	665,000
		うち県交付金				177,000	155,500	332,500
8	野木町商工会青年部ビールまつり	総事業費					1,155,559	1,155,559
		うち市町支出額					500,000	500,000
		うち県交付金					250,000	250,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,310,000	3,412,034	5,497,373	5,189,740	5,838,118	21,247,265
		うち市町支出額	1,280,000	3,396,044	4,962,051	2,604,000	2,311,000	14,553,095
		うち県交付金	640,000	1,698,022	2,481,026	1,964,500	1,155,500	7,939,048

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	商工会きらりフェスタ
事業主体の名称	野木町商工会
代表者の名称	寺内 浩
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林384ー4
事業主体の概要	・団体の目的:野木駅周辺の活性化・地域経済の発展、魅力発信による移住定住の促進、触れ合いの場の提供による郷土愛の醸成 ・設立年月日:昭和39年7月21日 ・構成員等:380名(令和5年3月31日現在)
当該事業に係る地域の現状と課題	栃木県の最南端に位置し、茨城県と接している野木町は、JR宇都宮線や国道4号線により、首都東京へ約60km、宇都宮へ約40kmで結ばれた首都圏に位置します。地形は平坦で、気候は温暖、地味も肥沃と気候風土ともに恵まれています。このような条件の下、米・麦・果樹・施設園芸などの農業が盛んです。一方、JR宇都宮線や国道4号、新国道4号線などへのアクセスのしやすから、首都圏に通勤するためのベッドタウン的色彩に加え、町内には野木工業団地、野木東工業団地のほか、新たに野木第2工業団地も完成し、豊かな自然と産業の調和のとれた「小さくてもキラリと光るまち」です。喫緊の課題は、急速に高齢化が進み以前比べると活気が停滞し、さらにコロナの影響で外出の自粛、イベントの中止や延期などで活気が沸き上がらないのが課題です。
事業目的	新型コロナウイルスの影響により町民はもとより町内事業者も大きな打撃を受けている。町が町政施行60周年の節目を迎え、町内経済を牽引する事業者で組織する野木町商工会が主体となりイベントを開催することで、町のキャッチフレーズ「小さくてもキラリと光る町」のとおり、多くの町民に「キラリ」と輝く笑顔を届け、町と野木駅周辺の活性化、地域経済の発展につなげる。また、イベントを通して野木町の魅力を全国に発信することで、交流人口や関係人口の増加、そして移住定住の促進を目指す。さらに、コロナの影響により希薄になった人との交流を復活することで住民同士の触れ合いの場を提供することで郷土愛の醸成につなげる。
事業概要	「商工会きらりフェスタ」【関係人口分類: I-d】 開催日: 令和7年11月29日 会場: ①イルミネーションの点灯 町観光協会にて同日にイルミネーションを点灯させることに合わせ、来場者並びに野木駅の利用者など多くの方に癒しを届けるべく、富士見公園内の藤棚にイルミネーションを点灯させ、駅前イルミネーションとのコラボレーションにより更なる駅周辺の活性化を図った。 実施期間: 令和7年11月29日～令和8年1月31日 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 町産米「とちぎの星」を使用した日本酒「野木きらり」は、町のブランド品であり地元農業者等の支援や地域活性化につながっていることから、更なる認知度向上や販路拡大に向け、来場者に味わっていただくことで、その魅力をPRした。加えて、試飲者に対してモニター調査を行い、その結果を今後の商品開発や販路拡大等のマーケティングに活用することで、美味しい日本酒が飲める町としての認知度向上に繋げた。また、同じく新酒フインのボジョレーヌーボーも解禁となることから、日本酒との飲み比べ等によりイベントでの賑わい創出に向けた様々な仕掛けを地元事業者、地域団体、教育機関等の協力を得ながら行った。また、これ以外の町ブランド品のPRも行った。 ③花火の打ち上げ 野木町に老舗花火事業者があり「野木の花火」が町のブランドになっている。コロナの影響により各地の花火大会等が自粛、規模縮小など大きな打撃を受けていることから、地元事業者の協力の下、イベントと併せて花火を打ち上げた。これにより多くの方に感動と喜びの共有、郷土愛の醸成につなげることができ、地域経済の活性化を図ることができた。 ④関係人口の創出 (町外への周知、継続的な参加や移住・定住への取組等) チラシを作成し、HPや町広報紙により町外への周知を行った。これにより野木町の魅力を全国に発信し移住定住の促進に繋げた。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 3野木町の魅力のブランド化 1野木ブランドの創出と育成 2郷土愛の醸成 KPI 野木ブランド認定件数(累計)現状値: 令和元年度17件→目標値: (令和3年度～令和7年度)20件 KPI 10代～50代の住民で野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 令和元年度69.91%～令和6年度80.0%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ		①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ
事業費	2,000,000	2,000,000	2,028,172	6,028,172	2,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000	
うち県交付金	750,000	750,000	750,000	2,250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	500,000	500,000	528,172	1,528,172	2,000,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	商工会きらりフェスタ	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1,500,000	野木町わがまちつながり構築事業交付金
協賛金	521,000	会員56名
雑収入	7,160	祝金、利息、机追加分
自主財源	12	
計	2,028,172	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	75,000	75,000	37,500	0	出演者謝礼
消耗品費	287,276	287,264	143,632	12	試飲用酒、コップ等
燃料費	3,240	3,240	1,620	0	発電機ガソリン代
食糧費	24,801	0	0	24,801	弁当、お茶代
印刷製本費	111,820	111,820	55,910	0	チラシ印刷、新聞折込代
光熱水費	7,304	7,304	3,652	0	イルミネーション電気料
通信運搬費	38,650	38,650	19,325	0	案内通知等
手数料	48,490	48,490	24,245	0	振込手数料
委託料	884,000	425,136	212,568	458,864	花火打上げ・会場設営委託
使用料及び賃借料	132,000	132,000	66,000	0	発電機・投光器レンタル料
工事請負費	349,000	349,000	174,500	0	仮設電源設置
備品購入費	22,096	22,096	11,048	0	テレビ液晶パネル購入代
保険料	44,495	0	0	44,495	
計	2,028,172	1,500,000	750,000	528,172	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	野木町
事 業 名	地域・こども食堂
事業主体の名称	ひまわりはうす
代表者の名称	丸山 俊郎
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林397-3
事業主体の概要	・団体の目的:地域の人の交流の場を提供する ・設立年月日:令和5年7月 ・構成員等:町内在住者5名 町外在住者1名
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町に地域・こども食堂が少ない現状 それに対し、こども食堂への関心や需要は年々高まっている。 その要因として非正規雇用や一人親世帯の増加などによる「子どもの貧困」がある。 今後、野木町においてこういった課題が顕在化してくることが予想される。
事業目的	食堂を通じて子どもやお年寄りの孤食をなくし地域の方々の交流の場を提供すること また、社会問題となっている子どもの貧困の解決に向けて取り組む。 そうすることで多世代間交流を実現しつつ、町外からの利用者を増やしていくことで 地域間の交流も図れるような場を築き上げて、魅力ある街づくりに寄与する。
事業概要	【毎月第一日曜日に地域・こども食堂の開催】 子どもからお年寄りまで、おいしく食べてもらえるような料理を提供し 老若男女だれでも気軽に立ち寄れるような居場所をつくった。 ・利用者数:延べ521名 【献立】 ・カレー・ハヤシライス・定食など ※地元の方から提供いただいた食材などを利用して調理することもあった。 【情報発信】 SNSを活用し若い世代に向けて活動のPRを行った。 また、チラシの作成も行うことで幅広い世代に周知を図りつつ 町外の方も利用してもらえるよう情報発信を行った。 【令和8年度】 次年度についても上記と同じ内容で活動を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 【数値目標】流入(移住・交流)人口 現状値:204,736人(令和元年度)→目標値:232,000人(令和7年度) 【KPI】野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値:11件(令和元年度)→目標値:20件(令和7年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和6年度	令和7年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・地域・こども食堂開催 ①カレー ②ハヤシライス ③定食 ④その他 (提供された食材) ・情報発信 SNSに掲載 チラシの発行	・地域・こども食堂開催 ①カレー ②ハヤシライス ③定食 ④その他 (提供された食材) ・情報発信 SNSに掲載 チラシの発行			・地域・こども食堂開催 ①カレー ②ハヤシライス ③定食 ④その他 (提供された食材) ・情報発信 SNSに掲載 チラシの発行
事業費	354,000	346,387		700,387	354,000
市町支出金 (ソフト事業分)	354,000	311,000		665,000	0
うち県交付金	177,000	155,500		332,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	35,387	0	35,387	354,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域・こども食堂	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	311,000	
自主財源	35,387	
計	346,387	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
光熱水費	55,000	55,000	27,500	0	電気、ガス、上下水道代
消耗品費	26,275	25,000	12,500	1,275	事務用品(インク等) 衛生用品
通信費	116,051	111,000	55,500	5,051	インターネット回線費
備品購入費	83,061	54,000	27,000	29,061	調理器具、のぼり旗、座布 団、Tシャツ
賃借料	55,000	55,000	27,500	0	建物賃借料
報償費	11,000	11,000	5,500	0	講師料(調理師謝金)
				0	
				0	
				0	
				0	
計	346,387	311,000	155,500	35,387	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町 名	野木町
事 業 名	野木町商工会青年部ビールまつり
事業主体の名称	野木町商工会青年部
代表者の名称	寺内 大輔
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林384-4
事業主体の概要	・団体の目的:地域の若手経営者や後継者で構成され、野木駅周辺の活性化・地域経済の発展、魅力発信による移住定住の促進、触れ合いの場の提供による郷土愛の醸成 ・設立年月日:昭和41年10月10日 ・構成員等:17名(令和7年3月31日現在)
当該事業に係る 地域の現状と課 題	野木町では高齢化の進行により地域活力の低下も進み、コロナ禍による長期間の行動制限やイベント中止の影響で、地域住民の交流機会が大幅に減少している。 さらに、近年の物価高騰により町民の生活負担が増加し、地元商店での消費低迷や経営圧迫など、地域経済への影響も生じており、地元商店の販路確保や経営基盤強化が必要である。 また、次世代を担う若者の地域活動への参画が不足しており、若い世代が地域づくりに取り組む機会の創出が重要な課題となっている。地域への愛着や郷土愛を醸成し、持続可能な地域発展を支える担い手の育成も必要である。 これらの課題に対し、商工会青年部が主体となるビールまつりのような地域密着型イベントの開催を通じて、地域の活性化、経済活性化、若者の参画促進を同時に実現する総合的な取り組みが必要となっている。
事 業 目 的	①多世代が参加できるビールまつりを通じて地域交流の更なる深化を図る。同時に、SNSなどを活用した積極的な町の魅力発信により、町外からの関係人口・交流人口の増加を推進する。 ②物価高騰により経営圧迫を受けている町内事業者に対し、ビールまつりを通じた販路拡大の機会を提供し、地域内経済循環の促進により町民の生活負担軽減に寄与する。また、地元商店の出店機会創出により、経営基盤強化と直接的な売上向上を支援する。 ③さらに、商工会青年部が主体となってイベントを運営することで、次世代を担う若者の地域活動への参画を促進し、持続可能な地域づくりの担い手育成と地域活動の継続性向上を目指す。
事 業 概 要	【開催日】令和7年8月30日(土) 15:00～20:00 【開催場所】野木駅西口富士見公園 【来場者数】約1,000名 【関係人口 1-1-d】 ①交流の場の提供・関係人口の創出 駅前公園で開催したことで、他市町の人々が地域を訪れやすく、駅利用者、近隣住民などの交流の場を提供することができた。SNSやホームページ、下野新聞等のプレスリリースや地域情報誌「こがも」を活用し、町外からの継続的な来訪者や野木町への愛着を持つ関係人口を呼び込むことができた。 ②地元商店による出店 地元商店による出店を通じて、ビールと地域グルメ(ひまわりパンなど)の相乗効果により新たな販路開拓を支援することができた。町内事業者の積極的な参加を促すことで地域経済の活性化を推進し、来場者が野木町の特産品や地域の魅力を直接体験できる場を提供できた。また、近隣市町のクラフトビール製造所との連携を図り、町内事業者との協働による経営基盤強化と直接的な売上向上効果が図られた。 ③次世代の地域活動参画促進 地域活動への参画意欲を持つ次世代の若者が積極的に関わることで、地域活動の持続可能性を向上することができた。同時に、野木町への郷土愛と誇りを育み、将来的に地域社会の担い手となる意識を持った関係人口を育成することができた。若者の参加を通じて地域活動への関心と参画意識を高め、郷土への愛着を深めながら、地域の未来を支える人材の育成が図られた。 【R8年度以降の取組】 ①継続的交流の推進 駅前公園での開催を継続し、駅利用者、近隣住民などの交流の場を提供していく。 ②地元商店による新たな魅力発信と経営基盤強化 地元商店による出店を通じて、ビールと地域グルメの相乗効果により新たな販路開拓を支援する。町内事業者の積極的な参加を促すことで地域経済の活性化を推進し、来場者が野木町の特産品や地域の魅力を直接体験できる場を提供していく。 ③次世代の地域社会参画促進と人材育成 地域に根ざした活動や組み合わせを通して地元商店の新たな取組を発信し、野木町の魅力発信と継続的な活性化に寄与する。特に地域に対する意識改革の高い若者や関係人口の参画により、野木町の魅力発信と地域社会への持続的な参画を促し、地域社会の担い手となる人材の育成を推進していく。個人愛の醸成による参画の促進も図っていく。 【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 3野木町の魅力のブランド化 1野木ブランドの創出と育成 2郷土愛の醸成 KPI 野木ブランド認定件数20件(令和3年度～令和7年度) KPI 10代～50代の住民で野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 令和元年度69.91%～令和6年度80.0%
事業に係る市町 総合戦略の目標 及 び KPI	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					(単位:円)	
	令和7年度	令和 年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度	
事業内容	①ビールの販売 ②地元商店によるグル メ等の販売					
事業費	1,155,559			1,155,559		
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000		
うち県交付金	250,000			250,000		
市町支出金 (ハード事業分)				0		
うち県交付金				0		
その他自主財源等	655,559	0	0	655,559	0	

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	野木町商工会青年部ビールまつり	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	500,000	野木町わがまちつながり構築事業補助金
協賛金	270,000	事業所より
売上	243,000	ビール売上
出店料	142,400	模擬店出店料
雑収入	159	預金利息
計	1,155,559	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	110,551	69,000	34,500	41,551	ビールカップ、氷、スタッフT シャツ、コピー用紙
燃料費	3,618	3,000	1,500	618	発電機用ガソリン代
食糧費	75,483	0	0	75,483	スタッフ昼食・夕食代・飲物代
印刷製本費	0	0	0	0	
光熱水費	2,147	2,000	1,000	147	公園電気代
通信運搬費	0	0	0	0	
手数料	6,380	5,000	2,500	1,380	振込手数料
委託料	467,500	300,000	150,000	167,500	会場設営・音響委託・テント 配線
使用料及び賃借料	121,540	121,000	60,500	540	発電機・投光器レンタル料
原材料費	205,810	0	0	205,810	ビール購入費
広告費	82,500	0	0	82,500	広告掲載料・会場看板
報償費	50,000	0	0	50,000	司会・ステージ・公園整備・ サーバー謝礼
備品購入費	30,030	0	0	30,030	タープテント
計	1,155,559	500,000	250,000	655,559	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合